

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・小林善秋・高橋潔
室賀清輝・高橋利春・加瀬由紀子
近藤マリ子・近藤真弘・近藤善信

後援・株式会社アサ
印刷・(株)北越時報

ご家族の皆さままでご覧下さい

慶 春

今年も宜しくお願ひ申し上げます。翠巖龍弘

去年は私にとって今迄の人生において、最も忙しい年でした。姉との死別、三男の結婚式、安善寺の御開山の正當四百五十回大遠忌法要等々々。留めは十二月の衆議院総選挙と、春の出来事がもう何年も前のことのように感じられました。特に十一月に勤めさせていただきました開山忌は、壇信徒の皆様方のご協力によりまして、厳肅のうちに厳修することができました。改めて御礼申し上げます。

子供の頃読んだもので、十二支の話が時偶思ひ出します。それは仏様が動物達に競争をして一番から十二番迄のものを順番に「何々年」と、その動物の名前をつけるということ。動物達が一斉にスタート、馳も長い道程を一生懸命走り到着して順番を数えると、一番が牛、一番が猪で何とか十二番目に入ったと喜びましたが、牛

両親と親交のあった故 伊藤義孝氏(当時、銀座 伊東屋会長)からの絵手紙



の前に鼠ねずみがいるのが分かり、嘆き悲しんでいると、仏様が鼯くまに「おまえは残念ながら鼯年はないが、そのかわり毎月の最初の日を『ついたち』と呼ぶ事にする。一年に十二回お前の名がある」と言われ、鼯は大変喜んだそうです。それ以来、月の第一日を「ついたち」と呼ぶことになったという話です。

今年巳年です。癸巳みづのへび(水の弟の巳年)ともいいます。昔から伝わる暦は十干と十二支とを組み合わせたものです。十干とは古代中国ですべての物質を形づくるもとと考えられた「五行」木・火・土・金属・水の五つの元素を兄と弟に左のように分けたものです。

- 木きのの兄…甲きのえ
- 火ひの兄…丙ひのえ
- 土つちの兄…戊つちのえ
- 金の兄…庚かのえ
- 水の兄…壬みずのえ

- 木きのの弟…乙きのと
- 火ひの弟…丁ひのと
- 土つちの弟…己つちのと
- 金の弟…辛かのと
- 水の弟…癸みずのと

十二支とは中国で十二宮のおのおのに獣をあてたのに基づくといわれ、時刻および方角の名です。例えば子は鼠年で十二支の第一で、また今の夜中の十二時頃で北の方角の名です。

子ねずみ 鼠・丑うし 牛・寅とら 虎・卯うさぎ 兎・辰たつ 龍・巳へび 蛇・午うま 馬・未ひつじ 羊・申さる 猿・酉とり 鶏・戌いぬ 犬・亥いのち 猪

あり、昭和廿八年生れの人は癸巳みずのへび(みずのへび)の巳年で、今年が同じ癸巳年で数え年六十一歳。干支が一巡して還暦を迎えます。

現在同じ暦、漢字を使うのは日本と中国だけだと思います。お互い仲の良い国であることを願うものであります。

『阿吽』 — 禅の教授法 —

長岡市乙吉町 安樂山 龍穩院住職 櫻井統一

新年早々堅苦しいお話で恐縮ですが、禅の子弟教授法について考えてみます。禅宗の子弟教授法はまことに独特です。

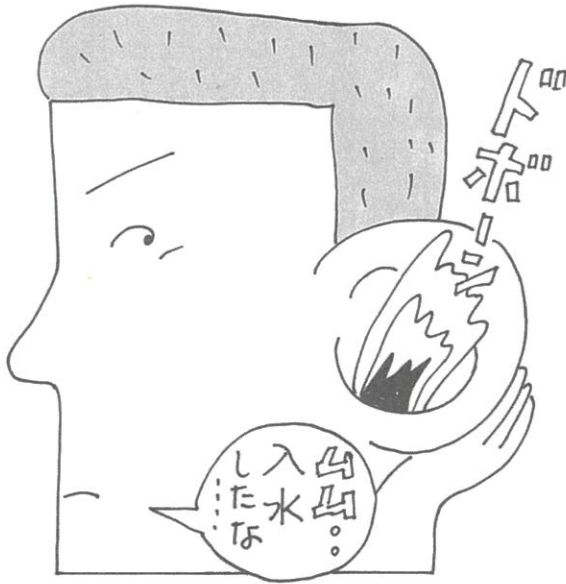
あるところに盗人がいた。息子は盗人である父が年老いたので、早くその極意を身につけたいと思い、父に頼んだ。一夜父は、息子を連れて出かけ豪家に来た。そして、その扉を越え蔵に忍び込み、大きな長持ちを開け、中の宝を取り出せと命じた。息子が中に入るや否や、こともあろうに蓋を閉め、中庭に飛び出し「ドロボーだ」と大声で叫び、自分は悠然と家に帰ってしまった。

豪家の使用人立ちは蔵の中を一つひとつ調べ、やがて息子が入っている長持ちにきた。絶対絶命の息子はその時、とつさに鼠がかじる音をまねた。鼠がかじっている長持ちに人ははいないと家

人はその場をはなれた。そのすきに息子は逃げた。気づいた家人は後を追った。追っ手が近づいた時、息子はそばの井戸に気づき、大きな石を抱えて投げ入れた。追っ手は盗人が入水したと

賊の極意を手にした」と涙を流して喜んだ。

禅は自分の体験と直感的判断によって会得するもので、師匠はそうした状況に弟子を導く。これが禅の教授法です(鈴木大拙 禅と日



思い、追うのをやめた。息子は無事家に帰った。息子は父の非道を恨んだ。そのとき年老いた父親は「お前は盗

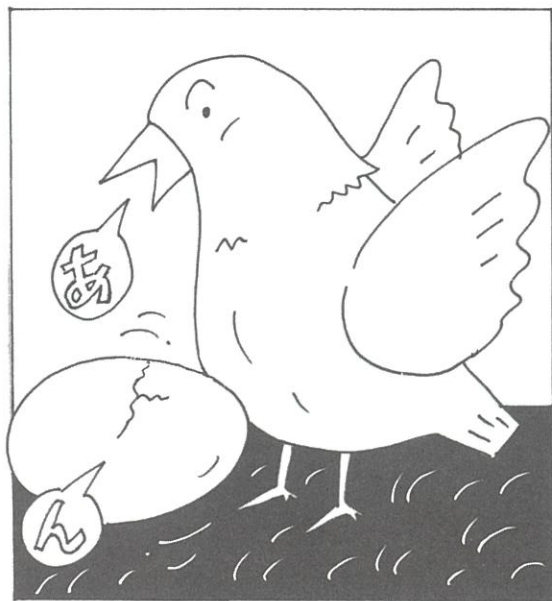
本文化 岩波新書。

もう一つ、泥棒の話。河内の国に源頼信という武将がいた。ある日、名馬を手

に入れた。それを馬泥棒が見て、雨の夜ひそかに盗み出した。夜中、子の頼義はかすかな物音に気づき、ただ一人弓矢を持って闇の中を馬で追った。子は、父はきつと後から来るに違いないと思い、父は、子は既に自分の前を盗人を追っているに違いないと思った。次の瞬間、矢を射る音がした。直ちに父は馬を返し家に帰った。朝、何事もなかったように父は顔を会わせた。盗人のことには何も触れない。ただ子が既へいつて見ると、くだんの馬には既に立派な鞍が取りつけられていた。父からの褒美であった。子はひそかに感涙に咽んだ(今昔物語 語卷二十五 第十二)。

父と子の間には理屈はない。言葉でいちいち説明の必要はない。しかも親子は絶対の信頼によって結ばれている。これを禅では「阿吽

の呼吸」といったり「不立文字、教外別伝」といったりする。教説より体験によって自身で把握する、これがこそが真髓なのです。しかし、これは禅の世界にとどまらず、実は中世以降の伝統的な日本の精神構造なのです。阿吽の呼吸が合わな



ければ何事も成り立たないのです。相撲、芸能の世界職人の世界、日本のありとあらゆる分野に、こうした教授法が伝統として行われてきたのです。曹洞宗の大本山永平寺、總持寺、また地方の専門僧

堂ではこうした教授法が脈々と、しかも何の疑いもなく、今も、昔そっくりに行われていきます。ところで、最近の学校教育はどうなったのでしょうか。あるのは過保護と事なかれ、相互不信でしょうか。卵の中の雛が殻を破って出

藏王山 安善寺

開山長翁存宗大和尚四百五十回大遠忌

御開山四百五十回忌大法要が無事終了いたしました。

此処に壇信徒の皆様の御支援と大本山總持寺の監院老師宗現寺住職をはじめとして寺院皆様方の法要に感謝をいたしております。

今回の法要は年回があられた歴代住職様の方々も

ご一緒に厳修されました。先住の雲巖見龍大和尚様に

つきまして壇信徒・寺院の皆様方には身近な法要と、心に残ることで世の安寧を祈られた事と存じます。

私達は先祖様を大切に、お参りする時「仏法僧」の言葉教えを意識いたします。自家

の繁栄を願う時、身近なお寺様住職を思います。私達の先祖様をお守りくださる安善

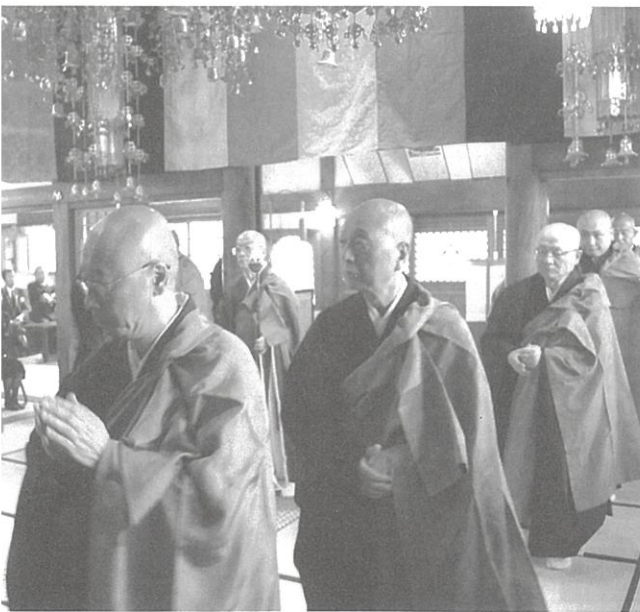
寺様の隆々とした継承が私達の心の安心と繁栄をもたらす事と考えます。

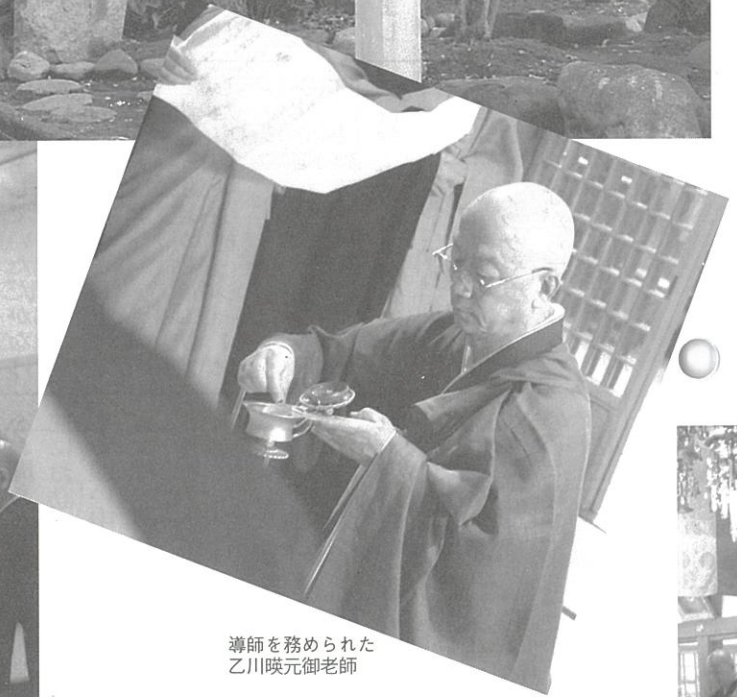
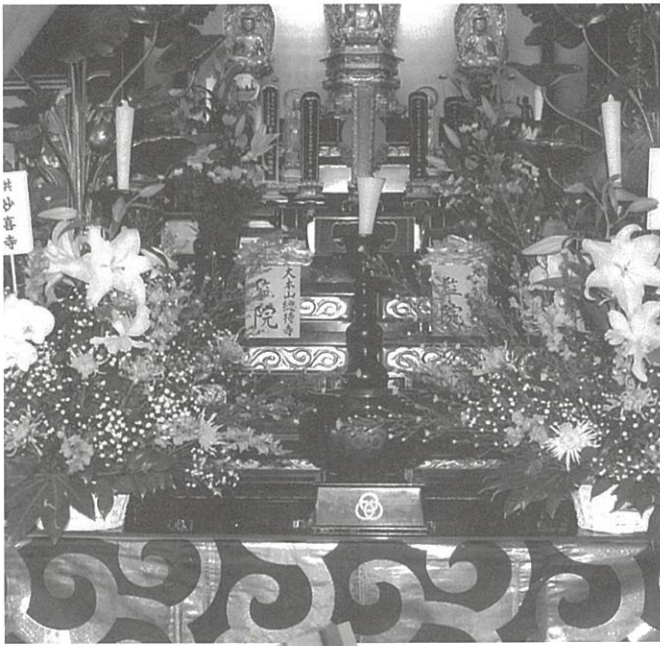
壇信徒の皆様には重ねて御礼申し上げますと共に、法要にご尽力くださいました御世話人様、寺門の皆様のおかげで隆昌を祈念申し上げます。合掌

安善寺壇信徒総代 小林政雄



小林総代のごあいさつ





導師を務められた
乙川映元御老師

お別れ

(平成廿四年九月〜十二月末まで)

岡地悦子様 九月廿七日寂

三条市曲淵

佐藤賢二様 十一月九日寂

長岡市美沢

山岸良二様 十一月十一日寂

長岡市川崎

姉崎アヤ様 十一月十七日寂

長岡市高見

中澤藤江様 十二月二日寂

長岡市下山

榎本タマ様 十二月三日寂

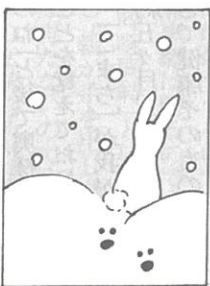
長岡市新保

武田フサ様 十二月七日寂

見附市昭和町

横山ツヤ様 十二月八日寂

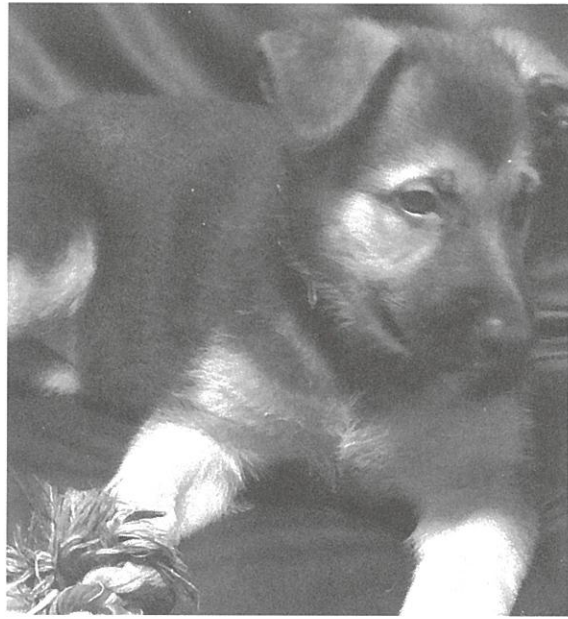
新潟市中央区



無意義だ、不可解だと叫ぶ間には、尚人生の意義に対する恋々の情が綿々絶えないでおるのではないか。 姉崎嘲風『予言の芸術』

初めてのの子犬

加茂市 阿部 修



私の名前はボアフォンケヤキマリコ 愛称「こまち」安善寺様三代目ケヤキマリコ犬舎二代目の女の子です。平成二十四年五月八日午後三時四十分頃安善寺様で生まれました。但し誕生日は八日ではなく、長男(兄)が七日にうまれておりましたので犬の世界では兄の誕生日と同じ日になるそうです。びっくりすることは、兄が生まれてから約四十時間後にわた

くしが生まれたことです。こんなに時間が空いて生まれるなんてめずらしいことだと思います。遅れましたが、両親の紹介をさせていただきます。父はフェローフォムハウスコーアイ、母親はアッシュフォムケヤキマリコ。皆様もご存知の通り安善寺様におりますジャーマン・シェパード犬です。体色はブラックタンドです。きつと母犬と同じく

らしいの美女犬になると思います。七月十日に加茂市の私の家にもらわれて元気に暮らしております。皆様宜しく願っています。

私は十月で六十二歳になりました。過去に作業犬(警察犬)として二頭のジャーマン・シェパードを飼いました。名前はアリス(雄)とオリヴィア(雌)。両犬とも亡くなっておりますが、アリスは三歳から、オリヴィアは二歳から育てました。訓練をするということは大変面白く、楽しい者です。作業犬として日頃は楽しくも厳しい訓練に耐え、それが囑託犬として実働で報われた時は本当に嬉しいものです。

しかし、オリヴィアを飼っている時に心の中に「何かくいたらない思い」を持ちました。犬とのコミュニケーションがもつととれて「子犬から育ててみたらもつと楽しいかも?」、そこからより心が通じ合えて訓練や実働

に役立つのではないかと感じて「一度だけでよいから子犬から育ててみたい」、そして「今度は絶対子犬から飼ってみよう」となり、家族に相談しました。私の思いに介してはくれませんでした。が家族は私の健康のことを気遣い心配してくれて、別な意味で決定してくれました。きつと犬がいないと運動しないからなんでしょう。

犬をあちこち探し始めましたが、我が家は「犬は妻と子供達が選ぶ」ということになっております。なぜならば私が留守の時に家族から犬の世話をしていただかなければならないからです。故に全面的に優先権をさし上げております。

妻と子供達が相談し決定した事柄は、犬種はジャーマン・シェパード。体色はブラックで雌犬の三点です。結果的には約二年間探しましたが、見て決めた方が良いと思いい、県内はもとより福島県、長野県、その他方々に行きましたが、ブラックやウルフが多く、残念ながらブラックタンドがなかなかいません。家族

の目に叶った子犬には巡り会えませんでした。

今年二月頃、尊敬していた長岡市の故吉澤豊様のハウス・サユリ犬舎(犬色がブラックタン系)を思い出しました。妻に話しをしたら直ぐに吉澤様にお願ひしてみようということになり、お宅をお訪ねし奥様とお嬢様に子犬の件でお話し申し上げたところハウス・サユリ犬舎には交配出来る犬がいらないとのことを告げられました。安善寺の近藤様のケヤキ・マリコ犬舎にはこれから交配する犬がいるというお話をお聞きしご紹介を頂き、早速にお訪ねをして子犬の件をお願い申し上げたところ、方丈様・奥様から「雌の子犬が生まれたらお譲りしましょう」と快くお引き受けくださいました。私も妻も本当に嬉しく感謝申し上げます。

五月になり一頭目が生まれた翌々日に安善寺様に伺い、帰り際に母犬が突然産気付き二頭目の子犬が生まれたのには驚きました。その時の子犬が「こまち」です。きつとこの子犬と縁があった

のね」と後で奥様に言われたことを覚えております。

「こまち」が我が家に来て約五ヶ月、ヤンチャで遊び好きで健康そのもので順調に育っています。体重は二十八、五キログラムで少し?かな! 悩みもありますが楽しんでみながらの服従訓練や足跡追求訓練も少しずつはじめました。来年の新潟県警察囑託犬審査会(足跡追求審査)と臭気選別審査があります。足跡追求の審査を受けようと思っております。臭気選別はもう少し時間をかけて育てたいです。

やはり、手間はかかるけれども子犬から飼うことの面白さと大切さを痛感しています。犬の血統の大切さからも気づきをいただきました。「人が犬に教えること」と「犬から人が教わること」があります。「こまち」から気付きをいっぱい貰っております。知らない事だらけですが、一度いただいた命を大切に、花を咲かせたいと思っております。さあ将来が楽しみ! 楽しんでガンパロー!

旬歌 愁灯

〔二十四話〕

「結婚行進曲」

加瀬由紀子

木枯らしがみぞれから吹雪に変わり、ついに一枚きりになったカレンダーを震わせると、急に時計の針が早送りとなる。年齢が増える程加速するようで「一年とは一夜の夢の如し」と、よく言ったものだ。

かくして多忙な師走なのに選挙、大雪が追い討ちをかけ、あつという間の年明けになった。原稿執筆を機に過ぎた年を振り返るのも一興、昨年はロンドン五輪を始め女子の活躍が目立った年だった。私も昨年出会った女性に焦点を絞ろう。まずわが娘加奈子、ついにガールズケイリンデビュー。我が家にも数回、NHKをはじめメディアの取材が押し寄せ、落ち着かない一年が始まった。

四月には、友人の会社のCMに出ている大和田伸也・五大路子夫妻のファンクラブ「フレンズクラブ・新

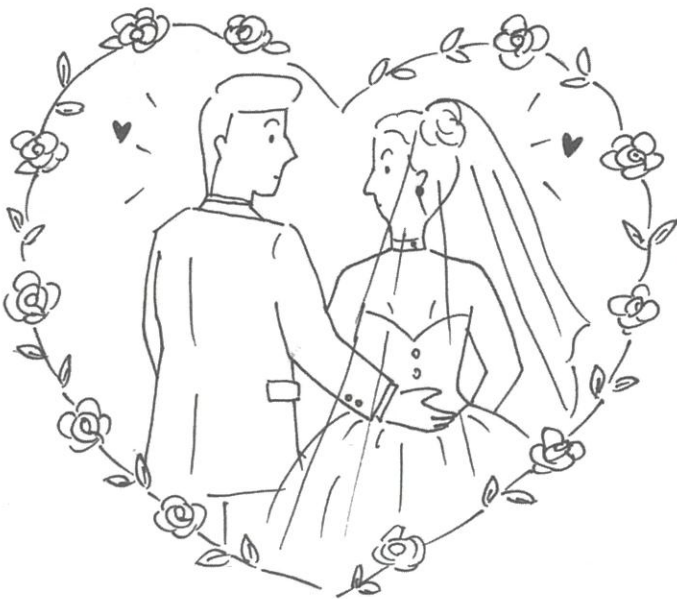
渾」の会に、付き合以上、出席。歌あり、寸劇あり、大御所の芸は安心して楽しめた。五大人から、八月十五日より上演する「横浜ローザ」を観に来てほしいと割引券をいただく。横浜・赤煉瓦倉庫で上演する一人芝居、実在した白塗りの赤い靴の娼婦の話はもう十八年目で、彼女のライフワークだという。何と二〇一一年に總持寺移転百年記念で上演したそう

ラ、虐待について熱く語った。国連障害者権利条約の画期的なスローガン、「我々の事を我々抜きで決めるな」やレイプ裁判で戦うサバイバー(性暴力から生還した人の意)への支援を訴えた。日本の男女平等指数は世界の最下位、かような問題を回避する風潮にあえて挑む会の意義は重要だ。

実のところ、最初に講演をお願いしたのは土井香苗さん(ヒューマン・ライツ・ウオッチ日本代表)だった。東大三年時に最年少で司法試験に合格した経歴の彼女は、難民の救済に国際分野で戦う三十七歳の弁護士というより、闘士というべきか。私は土井さんに緒方貞子さんの面影を見る。残念ながら当日はパリで仕事があり、ムリと断られた。

財団の講演には村木厚子さん(内閣府政策統括官)が自身の裁判の裏話なども披露、この人もある意味でサバイバー、生き残った一人でもあったのだ。

七月「長岡映画祭」に友人の浜野佐知監督の映画「百合子・ダスヴィダーニャ」が一日二回、上映されることになり、監督と脚本家が舞台挨拶にやって来た。ところが、二



ボブの独り言

今年がどうぞ 明るいい年になりますように

ボブの独り言

新しい年を迎えました。昨年は公私ともに慶中を含め、本当にいろんな事があった年でしたが、最後の最後にたくさん雪が積もったうえにシエパードのノンちゃんが大会を終えて戻って来たものから、私の居場所がなくなってしまうました。

少し前まではノンが怖くて絶対にノンのいる部屋には入っていかなくなったので、真人君がノンに馬乗りになったり、ノンが寝ている処に行つてわざと背中を枕にしてもノンは知らん顔して、されるがままになっていくのでも「本当はノンって身体は大きくて怖そうだけれど、怖くないのかな？」と想い、私も近づいて行つてみました。でも、すぐに真人君には特別なんだな〜という事が分かりました。時折「真人！ノンちゃんにそんなしつこくすると、がぶつて噛

まれてしまうからやめなさい！」って言うパーバの声が聞こえて来ますけれど……子供って私に対してもそうですが、時々すごく残酷な（尾を引つ張ったり）事をすることがあると思うと、いきなり自分の食べているものをいとも簡単に「ノン！オイデ」と言つて周りの大人た

ちが「えっ！」と思うくらいにあげたりするので。「チンカンチェン・チェイタイ」など、最近は毎日のように新しい言葉が出てくるようになった真人君ですが、九月に弟（悠真）が生まれ、お兄ちゃんぶりも板についてきたようです。毎年、十二月に入つてか



第六十一号、春号は平成二十五年三月九日（土）発行予定です

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきりや疑問（編集部が住職がお答えします）など。
- 嬉しい・楽しい嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

ら坐禅会・写経会・俳句会などの一年の最後の会があるのですが、そんな中で写経会の読経の最中、皆さんと一緒に静かにお経を聞いていた真人君がいきなりお経をあげている住職の前に、止める間もなく行つたかと思つたら、住職の方を向いて正座して座り、住職に向かつてきちんと手を合わせ深々と合掌をはじめたのです。突然の出来事と何とも真剣な仕草に、住職のお経の声が一瞬途絶えたように思えたのは私だけではないかと思つたようです。

今年には副任職も年男です。お盆を迎える前には、本山での仕事を終えて帰つてこれると思ひます。明るいい年になると良いのですが……二ヤーン

編集 雑感 謹んで新春のお喜び申し上げます。新しい年を迎えるのは気分が良いです。今年には癸巳（みずのとみ）干支では三十番目に当たります。巳年の蛇は脱皮することで生命を更新させるため、永遠の生命を宿す祖先神として古代より世界各地で崇拜されてきた。わが国では、弥生時代に鼠の天敵であることから田の神、穀倉の神として崇められ、さらに陸と同様に水面も歩き、農耕には水が不可欠なため、水神の象徴としても崇められたとある。巳年の人はお金が貯まると言われる所以かも知れない。

新しい年から新政権で政治も行われるでしょうから、きつと良い方向に行くのではないかと思つています。

何事も継続が力です。この季刊誌編集も同じで継続させることに使命感を感じて行つていきます。株式会社アサヒの故安藤一夫氏のご助力が今も続いています。彼の残した編集部は時を刻むように残っています。これも読者の皆様の反響や投稿が命であります。どんなことでも編集部へ投稿をして戴ければ幸いです。

新たな一年、編集部全員脱皮しながら成長をさせて戴こうと思つてお便りします。

（小林国一 拝）